

環境の現地観測のお知らせ（鳥類）

1. 経緯

平成17年6月にPI外環沿線会議で調査地域内において、オオタカの営巣に関連する情報が寄せられたことから、関係機関等から情報収集をしました。

情報収集の結果、東京都環境局にも営巣の可能性があるとの情報が寄せられていることから、平成17年8月から9月にかけて追加調査を実施しました。

追加調査の結果、オオタカの飛翔等が確認されなかったため、継続して調査を実施しました。

なお、調査にあたっては、オオタカの営巣等に関連する情報について、地元の住民ボランティアグループ等の方々と情報交換を行っています。

2. 観測内容

環境の現地観測は、野川・国分寺崖線フィールド及びその周辺においてオオタカの動向把握を行い、調査地域全域及びその周辺のまとまった樹林地で古巣調査、利用痕跡調査、林相調査を行いました。

3. 観測時期

観測は、平成17年10月から平成18年3月にかけて、毎月行いました。

4. 観測方法

観測は、目視（望遠鏡を設置等）等により行いました。

5. 観測位置図

調査範囲は計画路線周辺（事業実施区域から概ね片側250mの範囲）及びその周辺の動物、植物の主要な生息、生育範囲を加えた範囲で行いました。



6. 観測結果

- ・オオタカの飛翔、とまり、鳴き声等が確認されました。
- ・オオタカのものと推定される食痕が確認されました。
- ・平成17年10月から11月にかけて古巣調査を行った結果、オオタカの古巣は確認されませんでした。
- ・平成18年2月下旬に1箇所まで造巣行動が確認されました。
- ・樹林地の林相を把握しました。



目視による観測



林相調査



オオタカ



食痕

7. 今後の予定

今回の観測の結果、オオタカの営巣に関連する行動が確認されたため、平成18年4月以降も目視等による観測を継続します。

なお、観測結果については、引き続き、東京外かく環状道路調査事務所ホームページ等で公表する予定です。

オオタカの営巣等に関連する位置情報の公表は、営巣に関連する行動を阻害する可能性があるため、控えさせていただきます。